

平成23年度 第1回豊田市スポーツ振興審議会 会議録

【日 時】 平成23年7月15日(金) 午前10時00分～12時00分

【場 所】 豊田市役所 教育委員会議室

【出席者】 (委 員) 小幡 銀伸 ((財)豊田市体育協会 会長) 《会 長》
加藤 恵美子 (豊田市体育指導委員協議会 会長) 《副会長》
岩月 富士雄 ((社)豊田市身障協会 理事)
黒野 芳子 (豊田市健康づくり協議会 副会長)
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団 本部長)
寺田 広貴 (豊田市小中学校長会 保健体育委員会 委員長)
平林 栄子 (スポーツ指導員)
湯浅 景元 (中京大学スポ一科学部 教授)
(事務局) 倉橋 剛 (教育行政部長) 太田 錬治 (スポーツ担当専門監)
村中 正史 (スポーツ課副主幹) 熊谷 明典 (スポーツ課係長)
畔柳 隆二 (スポーツ課係長)

【傍聴人】 0人

- 【次 第】
- 1 委嘱状交付
 - 2 教育委員会あいさつ
 - 3 委員自己紹介
 - 4 会長・副会長選出
 - 5 会長あいさつ
 - 6 議題
 - (1) 第2次豊田市生涯スポーツプランの進捗管理について(資料1～3)
 - 7 その他
 - (1) スポーツ基本法の概要について(資料4)

【議事等の摘要】

■議事

事務局：資料に基づき説明(資料1～3)

会 長：事務局から第2次生涯スポーツプランの進捗管理方法の提案及び平成23年度取組計画について説明があったが、ご意見をいただきたい。

委 員：「する」「みる」「支える」スポーツの振興をプランに掲げているが、私の所属では「考える」スポーツという新たな視点でのスポーツ振興にも取り組んでいく。来年度、豊田市で第1回のイベントを開催したいと考えている。また、プランに数値目標がいくつか挙げられているが、他の部局と連携を図り、スポーツだけではなく、いろいろな分野について数値目標を掲げるのもよいのではないかと。

- 会 長：例えば、スポーツ振興による医療費の削減など、豊田市としての指標を作るべきである。事務局には、この指標の策定に取り組んでもらいたい。
- 委 員：指導者の養成が急務である。地区スポーツクラブがない地区については、体育指導委員の果たす役割が大きい。また、健康づくりリーダーも存在する。地域における指導者の体制づくりが必要である。
- 委 員：子どもの体力が低下しているが、学校として体育に比重を置くことがなかなか難しい状況である。学校の対策を講じる必要がある。
- 委 員：子どもの運動・スポーツに対して、学校が後退的だという話をよく聞く。体を器用に動かす能力は、子どものうちに身に付けなければならない。
- 委 員：スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が著しい。スポーツをする場にはいかに出すかを考えていかなければならない。
- 委 員：市が事業を進めていく上で、他の部局との連携ができていない。事業を継続していくという点でも連携が重要である。健康という視点では、健康増進課ともっと連携すべきである。
- 委 員：障がい者に関しては、あまり具体的な取組計画がない。これも連携が問題なのではないか。障がい福祉課との連携を強化して進めてほしい。
- 会 長：行政は、他の団体に事業をおまかせしているようではいけない。もっと真剣に考え、取り組んでほしい。そうでなければ、「生涯スポーツのまち」は実現できない。その取組みにあたっては、委員からも意見があったように、他の部局との連携を強化して進めてほしい。その取組みの結果を点検評価するのが、本審議会の役割である。

事務局：資料に基づき説明（資料４）

以上 平成２３年度 第１回豊田市スポーツ振興審議会終了